

第 7 回水道スマートメーター協議会及び箱根地区実証研究視察報告

日 時：平成 29 年 3 月 16 日（木）13：00-16：30 及び 17 日（金）9：00-12：00

場 所：箱根水道センター、リゾートピア箱根会議室

主 催：公益財団法人 水道技術研究センター

協 力：神奈川県企業庁企業局

参 加：神奈川県企業庁企業局、川崎市上下水道局、東京都水道局

横浜市水道局、神戸市水道局、大阪市水道局、札幌市水道局

事務局：佐々木常務理事、石田調査事業部長、斉藤主任研究員、松永主任研究員

開催概要

水道スマートメーターへの関心の高まりを受けて、本協議会への期待の声を頂戴しています。水道スマートメーター協議会では、これまでに実証研究成果の視察を通じて、技術面の課題を解決しつつある現状を確認してきました。今回は神奈川県企業庁企業局及び関係企業の協力を得て、箱根地区における包括委託業務の概要と水道スマートメーターの実証研究の取り組みを把握しました。

スケジュール

日時		内容
16 日	13:00-13:45	箱根包括委託事業概要の説明 ・神奈川県企業庁平塚水道営業所 ・J F E エンジニアリング株式会社 ・箱根水道パートナーズ株式会社
	13:50-14:30	水道スマートメーターの説明
	14:30-14:40	水道スマートメーター無線基地局の視察（センター屋上）
	14:40-15:10	水道スマートメーターの視察（宮城野第 2 地区）
	15:10-15:30	水土野水源地の視察
	15:30-16:00	イタリー浄水場の視察（膜ろ過設備）
	15:30-16:00	下湯配水池の視察（紫外線処理設備）
17 日	09:00-11:20	スマートメーター協議会（ワークショップ）
	11:20-12:00	スマートメーター協議会（来年度活動の討議）

実証研究の概要

1. 箱根町宮城野地区と強羅地区をカバーする 280MHz 帯無線基地局と、水道スマートメーターを配水管(親メーター)と配水ブロック内の全需要家宅(子メーター)に設置。
実証期間は 2017 年 1 月から 1 年間。
2. 通信と計量の安定性や漏水検知の実用性を検証する。



視察の様子（中央：親メーター）

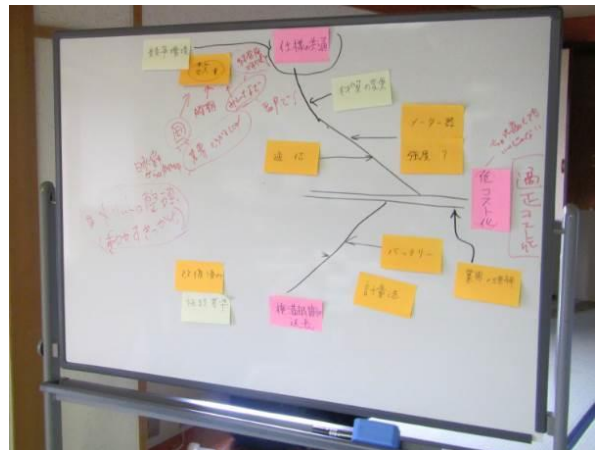
第7回水道スマートメーター協議会報告

開催概要

協議会では前回に引き続いて、「普及に向けた課題と解決策」をテーマにワークショップ形式で意見交換を行いました。2017年1月に開催したフォーラムにて頂戴した参加者の課題意識を参考にして、課題の根本原因を探りました。次年度活動の方向性を議論し、標準仕様の提案を目標とすることとしました。

主な意見

1. 導入・普及を視野に入ると「低コスト化」による費用対効果が優先事項。低コスト化のためには大量導入によるディスカウントが必要で、そのためには仕様を共通化することが最優先。
なお、低コスト化は、「将来コストの適正化」との認識が正確。
2. 導入効果をいかに算定し、市民や関係者の理解を得るか。検針業務の効率化以外への視点が必要。
3. システムとしての要求要件が必要。協議会として意見を集約し、関係企業の意見を伺いたい。
4. 協議会として更なる情報発信が必要。事業体による導入試算成果、国・市民との調整手法など。



ワークショップの様子